

神戸市の新潟県中越地震への被災地支援

1. これまでの支援内容（2月末現在）

（1）職員派遣による人的支援（10月25日から2月20日） 133名

支援先	支援内容	人数	備考
小千谷市 (91人)	現地調査他 応急給水活動 救護活動 災害対応支援 避難所における健康相談 運転業務 学校教育課支援事業 支援プロジェクトのシン ポジウム	7人 30人 10人 13人 18人 10人 2人 1人	
新潟県 (18人)	下水道復旧指導等 現地対策本部支援 応急危険度判定	12人 4人 2人	
川口町(8人)	災害対応支援	8人	
見附市(5人)	家屋り災判定業務	5人	
長岡市(5人)	水道応急復旧支援・ 意見交流	5人	2人は小千谷市と重複
十日町市(6人)	安全ネット会議との意見 交流	6人	

（2）見舞い状の送付・見舞金の贈呈

見舞い状の送付 災害救助法適用の6市16町8村が対象

見舞金の贈呈 小千谷市、十日町市、長岡市、川口町・・・計各620万円
新潟県社会福祉協議会・・・・・・50万円

（3）緊急職員献血の実施

10月26日（火）に実施

（4）小千谷市学校教育課災害支援

17年1月10日～1月24日（三木市、尼崎市、杉並区職員と）

（5）イルミネーションバスの訪問と十日町市雪まつりへの参画

電飾バスの被災地訪問（1月22日・23日、2月18日・19日）

「震災10年神戸からの発信」応援事業（2月18日・19日・20日）

2. 神戸市支援プロジェクトの立上げ

中長期的に被災地の支援を行うため、被災市町からの照会を受けて、神戸市の震災経験を踏まえ応答を行うプロジェクトチームを庁内に設置した。

(1) 名称

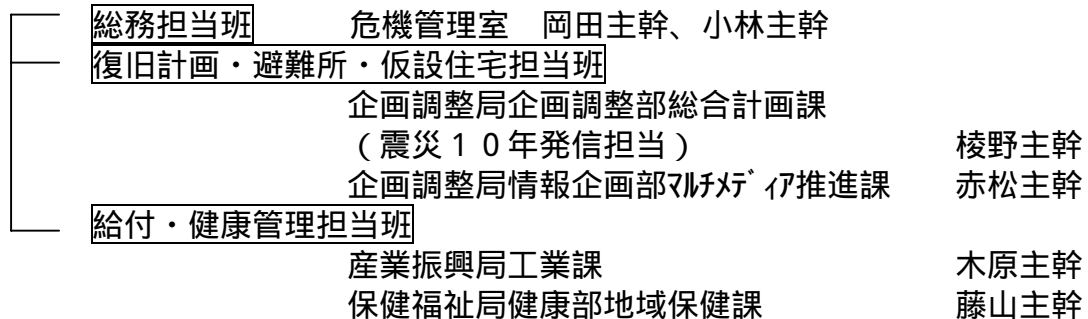
新潟県中越地震臨時支援プロジェクトチーム（危機管理室内に事務局を設置）

(2) 支援対象市町

小千谷市、川口町、長岡市、十日町市

(3) 組織体制

ヘッド 長手理事・危機管理監



副班長12名、危機管理室支援員を含めた合計28名体制

(4) 活動期間 平成16年12月6日(月)から概ね1年間

3. 被災地の状況（支援活動報告書は別添資料参照）

(1) 小千谷市（12月3日）

（危機管理室職員による担当課長、課長補佐との面談より）

り災判定

- ・二次調査の依頼が1500件来ている。10班(1班2人体制)で調査に回っている。年内に終わるかどうかが、という見込み。

避難所

- ・避難難住民は1790人。そのうち、建物に入っている方は1436人。仮設住宅の入居が今日から始まっており、学校避難所は7日までに閉鎖する予定。

仮設住宅

- ・仮設住宅の2次募集も今日から始めた。12月15~20日頃から引渡しを予定。仮設住宅の管理については、自治組織のほか、入居者の中から管理する人を、雇用促進事業のお金で雇う方向で対応する予定

解体

- ・応急修理と仮設入居とで迷っている方が多く、遅れていた。

(2) 川口町 (1 2 月 1 日)

(危機管理室職員による担当課長との面談より)

り災証明

- ・ 1 1 月 2 0 日から発行受付を開始し、終了。 1 5 0 件の再調査

避難所運営

- ・ 避難所は 1 0 箇所程度に減少し、全体で 3 2 0 人 ~ 3 3 0 人程度。

仮設住宅

- ・ 4 1 2 戸建設し、 3 5 2 世帯の申し込みがあり、一般抽選で決定する。

- ・ 1 2 月 2 日から入居を開始し、 1 2 月中旬頃に完了する予定

公費解体

- ・ 全壊、大規模半壊については、収入要件を外し町費負担で公費解体を行なう。申し込みはこれからで、件数は不明。自衛隊による解体も実施。